

用語説明

グローバル化の進展に伴い、国内でもカタカナ表記の表現が増えています。中には、耳慣れない用語もありますので、補足説明します。

・アクティブシニア【序論(案)P3】

仕事や趣味に対して非常に意欲的で、健康意識や自立意識が高く、新しい価値観を積極的に取り入れようとする、おおむね年齢が65～75歳の高齢者の通称。

・アンコンシャス・バイアス(無意識の思い込み)【序論(案)P5】

誰かと接するときや何かを見たり聞いたりするときに、これまでに自分が経験したことや、見聞きしたことに照らし合わせて、無意識に「●●はこうだ」と思いこむこと。

・イノベーション【基本構想(素案)P5】

革新的な技術や発想により、新たな価値を生み出し、社会に大きな変化をもたらすこと。

・インクルージョン(包括性)【序論(案)P4】

すべての人々が尊重され、個々が能力を発揮して活躍できている状態。

・ウェルビーイング【序論(案)P5】

心身が健康であることに加え、幸せを感じたり、本人を取り巻く社会環境や人間関係が良好な状態であり続けるなど、持続的に満たされた状態のこと。

・エクイティ(公平性)【序論(案)P4】

一人一人がパフォーマンスを発揮できるように、個々に合わせて支援内容を調整し、公平な土台を作り上げること。

・サステナブルツーリズム【基本構想(素案)P5】

旅行者が集中することで、自然環境やそこで暮らす人々の生活に与えてしまう負の影響を極力なくし、生活者と観光客双方に良い影響を与える、持続可能かつ発展性のある観光を目指す概念のこと。

・サブカルチャー【基本構想(素案)P3】

古典芸術や伝統芸能と対比される文化で、漫画やアニメ、アイドルやコスプレ、音楽などに関連する文化のこと。

・シームレス【基本構想(素案)P4】

「継ぎ目のない」という意味で、公共交通分野では、乗り継ぎ等の交通機関間の「継ぎ目」や交通ターミナル内の歩行や乗降に際しての「継ぎ目」をハード・ソフト両面にわたって解消することにより、出発地から目的地までの移動を全体として円滑で利便性の高いものにする。

- GX(グリーントランスフォーメーション)【序論(案)P4、基本構想(素案)P5】
温室効果ガスを発生させる化石燃料から、再生可能エネルギー中心へと転換することで、脱炭素と経済成長の両立を目指し、経済社会システム全体を変革すること。
- スタートアップ【序論(案)P3】
革新的なアイデアで、これまでに無かった新しいサービスを作り出し、社会課題の解決を図ることを目的に起業し、短期間で急激な成長を目指す企業・個人のこと。
- ステークホルダー【序論(案)P5】
直訳すると利害関係者。行政の場合は、地域住民や企業、NPOや大学、マスコミ、各省庁など、取組に対し、直接的・間接的に関係を有する者の総称。
- セカンドキャリア【基本構想(素案)P3】
終身雇用が主流とされてきた時代は退職後や結婚後のことを指していたが、現代においては、中高年の人材による将来を見据えたキャリアの転身やキャリア・アップといった意味合いでの認識が主流化。
- ゼロカーボン【基本構想(素案)P4】
家庭や企業から排出される温室効果ガスをできるだけ減らし、森林などによる吸収量を増やすことで、排出される温室効果ガスを実質的にゼロにすること。
- タイムライン(防災分野)【基本構想(素案)P4】
災害の発生を前提に、防災関係機関が連携して、災害時に発生する状況をあらかじめ想定・共有した上で、「いつ」、「誰が」、「何をするか」に着目して、防災行動とその実施主体を時系列で整理したもの。
- デジタルデバイド【序論(案)P3】
インターネットやパソコン等の情報通信技術を利用できる者と利用できない者との間に生じる情報格差のこと。
- DX(デジタルトランスフォーメーション)【序論(案)P3、基本構想(素案)P5】
競争上の優位性を確立するため、主に企業がビジネス環境の激しい変化に対応し、データとデジタル技術を活用して、顧客や社会のニーズを基に、製品やサービス、ビジネスモデルを変革するとともに、業務そのものや、組織、プロセス、企業文化・風土を変革すること。
- ナイトタイムエコノミー【基本構想(素案)P5】
夜間の様々な活動を通じて、地域の魅力や文化を発信し、消費拡大などにつなげる考え方のこと。

・ネイチャーポジティブ(自然再興)【序論(案)P4】

「自然と共生する世界」の実現に向け、2030年までに自然資本を回復軌道に乗せるとともに生物多様性の損失を止め反転させるため、社会・経済活動による自然への負の影響を抑え、プラスの影響を与えることを目指す世界共通の概念。

・ビジネス分野のエコシステム【序論(案)P3、基本構想(素案)P5】

ICTの急速な発展により、さまざまな国籍・規模・特性などの企業が協力し合い、分業、共同開発、共同事業など、共存共栄の関係を目指すための、企業間や企業と顧客との連携のこと。有名な事例は、アメリカのアップルやアマゾンなど。

・MICE(マイス)【基本構想(素案)P5】

企業等の会議(Meeting)、企業等の行う研修旅行(Incentive Travel)、国際機関・団体、学会等が行う国際会議(Convention)、展示会・見本市・イベント(Exhibition/Event)の4つの頭文字を使った造語で、これらのビジネスイベントの総称のこと。

・リカレント教育【序論(案)P5】

仕事で求められる能力を磨き続けることで自己実現につなげるため、個人が能動的に学ぶこと。

・リスクリング【序論(案)P5】

求められる職務内容を担える人材を育成するために、企業が能動的に従業員に対し実施するもの。